

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女2

女子 2回戦

会場 国府台市民体育館

コート _____

チーム名		総得点				総得点	チーム名
大分		<u>26</u>	14	—	7	<u>12</u>	県立富岡
			12	—	5		
			—				
			—				
			—				
			7mTC				

女子2回戦、大分のスローオフで試合開始。両チーム速い攻撃を展開し目が離せない熱戦となった。先制は富岡高橋の力強いミドルシュートが決まるも、すぐに大分東江がカットインで同点となる。大分は安定したディフェンスから速攻に持ち込み3点連取する。一進一退の攻防が続き3点差が縮まらない富岡、前半20分大分萩尾と高橋の得点で5点差になり、すかさずタイムアウトを請求。その後は徐々にリードを許してしまい14対7で折り返す。後半の立ち上がり大分廣田の好セーブから速い攻撃に持ち込み大分は得点を重ねていく。追いつきたい富岡だが大分キャプテン後藤のロングシュートに対応できず、さらにディフェンスからの速攻でリードを広げられ26対12で大分高校が3回戦へと駒を進めた。

31年 3月 25日

記載者氏名 水野 恭宏

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女4

女子 2回戦

会場 国府台市民体育館

コート

チーム名	総得点				総得点	チーム名
福井商業	23	8	—	9	18	高松商業
		15	—	9		
			—			
			—			
			—			
		7mTC				

女子二回戦、福井商業のスローオフから試合開始。立ち上がり3分過ぎ先制は福井商業3番朝日のシュートから試合が動いた。その後一進一退の攻防を繰り返すが10分過ぎ高松商業が2人目の退場者を出し、流れが福井商業に傾くかと思われたが、高松商業3番竹内のミドルシュートで連続得点を重ね、流れを渡さなかった。高松商業1点リードで前半を折り返す。

後半立ち上がり、福井商業13番竹内の7mスローの得点から動き出す。中盤まで一進一退の攻防を繰り返すが、福井商業のディフェンスのシステムチェンジにより高松商業が得点できない時間帯が続く。後半20分過ぎ福井商業3番朝日の連続得点により高松商業がタイムアウトを要求。その後も高松商業が得点を奪えず、連続得点を許し福井商業が5点差をつけ勝利した。

31年 3月 25日

記載者氏名 阿部 哲

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女5

女子 2回戦

会場 市川市国府台市民体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
小林秀峰	32	[17 - 5]	12	札幌月寒
		[15 - 7]		
		[- -]		
		[- -]		
		[- -]		

小さなミツバチが一齐に飛び回り、体を張って巨大な熊に立ち向かう。スピードと豊富な運動量を誇る、宮崎県代表小林秀峰が第2回戦を32対12で勝利した。

開始2分、川嶋の鮮やかな7mスローで小林秀峰が先制すると、その後も蝦名がポストから、藤原、谷口が速攻で着実に加点する。札幌月寒は、小柄だがよく組織された小林秀峰の立体的なディフェンスを攻めめぐみ得点が伸びない。ペースは次第に小林秀峰に傾き、前半21分には12対5と大きくリード。波に乗った小林秀峰は17対5で前半を終えた。

後半になっても流れは変わらなかった。トップを蝦名がタクトを振るう堅いDFからのスピードある速攻や、CB川嶋・RB蔵本のカットインなどで加点。主将でGKの谷口が要所で美技を見せて点差を広げていった。

大型チームの札幌月寒は、GK鈴木ファインセーブやLB成田・三浦のカットイン、主将仙北のポストなどで最後まであきらめず見せ場をつくったが、地力の差が大きかった。

31年 3月 25日

記載者氏名 鈴木 誠